

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年12月31日第157号—

<目次>

●教員の大量未配置をなくそう！

◆巨大物流倉庫は要らない！緑の憩いの場と市民ミュージアムを造ろう！

▼川崎市は、市民の財産の公共施設の民間委託をやめて下さい！

▲お知らせコーナー

①「新たなミュージアムに関する基本計画(案)」への市民意見の募集中

②新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針(案)に関する意見募集中

③ 1/10 川崎労連旗開き

④ 1/25 ゆめシネマ「MINAMATA」

⑤ 3/23 原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

⑥メルマガへの寄稿募集

★編集後記

※ 今年2024年もあと1日となりました。

明日の2025年でメルマガ「新しい川崎」も4年目に入ります。

2024年から2025年へ、新しい年への期待が膨らみます。

2025年は、4年ぶりの川崎市長選挙の年です。

市民にとって、たまりにたまった市民要求の実現のチャンスです。

そこで、メルマガ「新しい川崎」では、新年の特別企画として、『#チェンジ川崎～わたしの願い』の投稿を読者のみなさんによびかけることにしました。

さっそく3人からの投稿があり、特別企画を開始することができました。ご協力ありがとうございます。

この企画は1月いっぱい続けます。みなさんの投稿をお待ちしています。

●『#チェンジ川崎』私の願い ①

—教員の大量未配置をなくそう！—

2024 年は、川崎市の学校への教員未配置が一層深刻になっていることが明らかになりました。同時に、その原因となった教員採用方針の誤りを正そうとしない市教委への怒りが広がりました。

このままでは、学校がもたない！現場からはそんな悲鳴が聞こえます。

2024 年度当初、教員の未配置は市内 174 校中 83 校で、合計 131.5 名でした。これは昨年(61.5 名)の 2 倍を上る大量の教員未配置でした。

産育休や病休に入る教員の補充が見つからないため、教員未配置は月を追うごとに深刻化し、10 月 1 日時点では、99 校で合計 180 名となっています。

この中には、病気療養中でも休んでいる期間が 3 ヶ月未満の人の数は入っていないため、現場の実際の教員不足は更に深刻なものになっています。

1 校で 5 名もの未配置となっている A 学校では、学校運営が困難になっています。

また、2 クラス 80 名弱で合同授業を行なう学校や、美術の授業が 3 ヶ月も行なわれなかった学校など、子どもたちの学ぶ権利が脅かされ続ける状況が生まれています。

しかし、川崎市教育委員会は、この深刻な状況を改善するために必要な教員採用を行なっていません。

10 月には第 2 回目の秋募集では、50 名の教員の追加募集をしたにもかかわらず、「1 回目の募集時の採用基準に満たない教員は採用できない」として 24 名の合格者しか出していない。

「任期に定めがなく、安定的に学校運営に関われる正規教員を定員まで配置せよ」という要求に背を向け続けているのです。

その一方で 12 月、不安定な身分の 3 年の任期付き教員を 120 人募集しています。

仙台市が、必要な正規教員の配置を行ない、2024 年度 4 月時点で教員未配置をゼロにしているのとは対照的です。

市政を転換し、子どもたちが安心して通える学校にしていくことは、待ったなしです。

大前 博(川崎市教職員連絡会)

◆『#チェンジ川崎』私の願い ②

巨大物流倉庫は要らない！緑の憩いの場と市民ミュージアムを造ろう！

2024 年は、「三菱ふそう跡地にはトラックが集まる巨大物流倉庫ではなく緑豊かな市民ミュージアム

ムを!!』という夢があふれる陳情署名には4183筆もの署名が集まりました。

しかし、8月29日の文教委員会での審議は、採択意見は共産党だけで、多数決で不採択になりました。大変残念でした。

その後、「巨大物流倉庫を考える住民の会」では「西加瀬まちづくり生の声アンケート」に取り組み256通の回答と、ふだんの署名活動では聞かれない生の声を400以上も集めました。

それ等をまとめ、川崎市のまちづくり局、市民文化局、ダイワハウスに届け読んでもらいました。

生の声は、巨大物流倉庫はいらない！という意見であふれています。

私達、住民の会があきらめず活動することでダイワハウスも、9月24日には初めて住民の会と建設担当者が話し合いの場を作りました。

住民からは「生の声アンケート結果」やその後にも届けられた追加の声を読んでもらい、そして、直接会合の場でも生の声を訴えました。

これに対して、ダイワハウス担当者は、年明けに回答をすと言いました。企業として何が出来るか考えてみるということです。

そして、現在、三菱ふそう跡地は、解体工事が終了しても次の新築工事の着工が出来ないでいます。

ダイワハウスが回答をするまでは工事は止まっているのです。

これは大きな成果だと思います。

大きな巨大企業であろうと地元住民の声は無視できないのです。

また市民ミュージアムについてですが、155万市民が欲しいのは、どんなミュージアムでしょうか？移転先は生田に決めたと言いましたが、生田緑地の樹木を伐採しバラ園も縮小させる、そしてバックヤードもこれまでの半分にする計画です。

十分なスペースを確保できないことは今後の運営にも困難が予想されるし、貴重な緑の伐採を前提に移転を計画するのは妥当ではありません。

是非これからでも考え直して欲しいです。

11月21日に文教委員会の傍聴に行きましたが共産党の市古次郎議員だけが一人、市民意見を反映しようと奮闘していました。

市長にも、川崎市にも、他の議員にも、市民の声を聞く姿勢を取り戻して欲しいと切に望みます。

川崎市は「子どもの権利条例」を日本で初めて作成した自治体なのでありますから。

その精神に立ち返って市政に反映して欲しいです。

高津区にある「川崎夢パーク」のような素晴らしい公園を西加瀬(三菱ふそう跡地)にも造って欲しいです。

なんとといっても 10 ヘクタールもある土地なのですから。

川崎市民が心から喜べるような土地活用に転用して欲しいです。

その気になれば出来るはずです。

広瀬千尋(西加瀬巨大物流倉庫を考える住民の会)

▼『#チェンジ川崎』 私の願い③

川崎市は、市民の財産の公共施設の民間委託をやめて下さい！

今は閉館となった市民ミュージアムは、2019年に台風が接近し大雨で地下に浸水し、美術品のほとんどが水に浸かり、72億円の被害を出しました。

市民ミュージアムでは以前にも地下浸水の危機があったそうですが、その時は当時の職員が頑張っただけでこれを防いだそうです。

台風は事前の予報で浸水が予想されたら、美術品を2階に移動するとか、土嚢を積むとか対策を取ればと思いますが、民間委託の事業者は、必要な対策をあまり取らなかったのです。

被災後の市の検証報告書で660個必要とされた土嚢は、僅か15個しかなかったそうです。

大切な市民の財産を守るという防災意識の欠如としか言いようがありません。

川崎市は、等々力緑地や他の施設など計10ヶ所などを「160億円経費削減・民間活力の活用」などの目的で「PFI方式」と呼ばれる民間委託での「建設・管理・運営」などを進めています。

しかし、民間委託で本当に市民サービスが向上し、経費削減になるのか、証明されているのでしょうか。

川崎市は政令都市で唯一、国から地方交付税を支給されない、最も財政豊かな市です。

減債基金(将来の借金返済の為の基金)も約2,900億円以上と、政令都市平均で1人当たり1.6倍も有り、ため込み過ぎです、900億円も多くなっています。

市民にとってサービス低下・責任放棄ともいえる安易な民間委託を川崎市はやめるべきではないでしょうか！

栗原 伸元(中原区在住)

★お知らせコーナー

①新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針(案)に関する意見募集中

*意見募集終了日 *令和7年(2025年)1月8日

[詳しくはこちら→](#)

② 川崎労連旗開き

1/10(金)18時30分～20時30分

川崎市総合自治会館ホール(JR武蔵小杉駅から徒歩3分)

連絡先 川崎労連 044-211-5164

③ゆめシネマ「MINAMATA」

1/25(土)かわさきゆめホール

①9時 ②12時 ③15時 ④18時

一般1000円、当日1500円、障がい者学生500円

お申し込み

044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

④気候危機・水素戦略に関するシンポジウム

日本最大のCO2排出都市・川崎市をどうするのか

1/30(木)エポックなかはら7F大会議室

問い合わせ

044-200-3360(共産党市議団)

ズーム視聴希望の方は以下のアドレスにお申込みください。

<info@jcp-kawasaki.gr.jp>

④原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

3/23(日)中原平和公園

連絡先

044-211-0121 川崎合同法律事務所

kibounotubasa@gmail.com (かもした)

[詳しくはこちら](#)

⑤メルマガへの寄稿募集

メルマガ「新しい川崎」では、いよいよ川崎市長選の年を迎えるにあたり、読者の皆さまの川崎市政への思い、要望、意見などを、1月まで特集したいと思います。

200字から800字ぐらいの原稿を、年賀状のつもりでお寄せください。

(ただし、掲載の判断については、編集部に一任をお願いします。)

新年号の締め切りは、1月5日正午です。

その後も受け付けます。

→投稿は、info@newkawasaki.jp

★編集後記

つながることを大切に

いよいよ市長選挙の年、2025年がやってきます。

2022年元旦に発行したメルマガ創刊号の巻頭言で編集部は、「希望」をこう書きました。

「どうすれば、福田市政の問題点を市民に知らせ、市民の声を聞く川崎市政を実現できるでしょうか。皆さんの知恵を集めて運動を進めてまいりましょう。」

この3年間、多くの方の協力を得て、1週も欠かすことなく、川崎市政のあり方を問う記事を掲載し、火曜日早朝の定時発行を続けることができました。

心より感謝いたします。

メルマガ3年間の成果として、今までにつながることのなかった新しい住民運動の方々や、川崎市政を変えたいと願う市民の方々とつながることができました。

その基盤があったから、11月22日の「#チェンジ川崎 学習と交流のつどい」で、「福田市政12年の大問題マップ(一次案)」を発表することができたのです。

ぜひ、この「大問題マップ」をたたき台にして、みなさんのお近くで、「福田市政の大問題を語る会」を開きましょう。その報告をメルマガにお寄せください。

2022年に186票差で杉並区長に当選した岸本聡子さんは、最近出版の自著「杉並は止まらな

い」で、こう書きました。

「区長選挙は、杉並の多様な住民運動がつながり、それが基礎となって生み出されたものだった。まず、住民運動があり、その願いを体現する代表者を区長選挙に出そうという動きになって、私に声がかかったのだ。」

来年の川崎市長選挙も、「つながる」を合言葉にしたいものです。

そして、「つながり」を生み出す強力な道具に、このメルマガ「新しい川崎」をみなさんと育てていきましょう。

そうです、まず、あなたのお隣の方に読者になってもらい、メルマガでつながりましょう。(H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/T56oRdeBVoqi?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp